



会長再任にあたり

OB会 会長 西村 一

当 OB 会は発足3年目を迎え、会員も約120名を数え活動の目的である会員相互の情報交流、親睦活動も一応の流れに乗り始めたことを感じています。

ひとえに楽農生活センター関係者、OB会役員、及び会員各位のご理解とご尽力のお陰と思う次第です。今までの1期は会を立ち上げ、取りあえずの形を創ったと思います

幸い私たちの周りに様々なノウハウをお持ちの方々がいて、そのアドバイスで色々な企画が出て来ました。これらを会として、どう取り組み実行に移すかほんとに悩ましいところですが、それだけこの農をキーワードにした課題が今、求められている証だと思います。

私は日々の生活で自分の食べるものを自分で作る。自らが作ったものは、良いにつけ悪いにつけ、美味しいし安心、これが信条です。この



OB会とは役員が牽引しそれに会員が乗っかるのではありません。活動の裾野を更に広げ、会員の自発的参加で展開できれば活発になります。

いま取り組みたい基本活動の最重点は”OB会員のネットワーク構築”です。これは執行部が主体でやります。

この他に、OB会活動に取込みたいのが兵庫県の生植物多様性維持の勉強、研究、実践に関わる活動です。今まさに社会の話題というか課題と申し上げましょうか。我々自然の中での農業をキーワードにしている団体として、考えてみたい課題です。OB会内にサークルとして作れないでしょうか。

次に会員の皆様にはメタボリック該当世代も多く、話題も農業のほかに自身の健康に関する事が、結構多いのではないのでしょうか。健康維持活動を考えるサークルを作れないでしょうか。

更に趣味活動の次元ですが

単純な思いが会員大半の気持ちであり、だから一年も半年も掛けて勉強出来たんだと思います。

しかし作物を作り始め数年経つと、いつの間にか流れが我流になり意気揚々とした活力が減少したり、農に取り組む気持ちが何となく萎えて、いい加減になってしまうのではないのでしょうか。この気持ちを仲間と交流することで、更なる刺激を受けたり、情報を聞くことで新たな活動意欲を与えられるのではないのでしょうか。

私はこの二年間 OB 会役員会に出て役員の方々の話しを聞いて、”よし！何とかやろう” そんな刺激を、いやエネルギーを、イマ時でいえば”オーラ”を貰っています

今回は会長とし敢えて皆様に提案とお願いがあります。

其れなりに出来た形の OB 会は役員が担当し、会運営上必須の事項をやります。

英会話研修サークル：時間と金がおありの皆様は夫婦で海外旅行も多いかと！少しでもは話せれば旅行の楽しさも、もちろんせつかくお持ちの能力を維持する為にも。

料理サークル：実はわたしは宝塚男性料理クラブの会員です。10年近くなりますが、結構実力が付いたと自負しています。



健康、英会話、料理は楽農生活センターのご協力も期待できます。

皆様のなかで面白そうだからやってみようかと、自身 OB 会の活動として取り組んでみようかと思われる方がいらっしゃいましたら、私に声を掛けてください。

これらは何の形も仕組みも出来ては居ません。あくまでも一からです。もちろん我々はボランティアを前提に活動しています。その所は充分ご理解いただきたいと思います。

皆さん今日は

楽農学校課 山吹正義指導員

神出ずる地、楽農学校にお世話になり、楽農生やOBの方々、先輩の先生方に支えられ、日々感謝の8ヶ月が過ぎました。

今年の野菜作りは、春から大雨に見舞われ、その上寒さも加わり、大変苦勞されたと思います。でも苦勞された分沢山の収穫があったのではないのでしょうか、作物の成長、生命力に驚きの毎日です、努力は報われます。楽農学校は初めて農業を志す方にとっては、

総合的に整備され(人的にも)とても良い環境だと思います。卒業された多くの方は農業に関する所で仕事をしたり、家庭菜園を楽しまれていると伺いました。

OB会も情報の交換会や、農場視察もあり、良き伝統が作られています、私も一員として、少しでもお力になればと思い、頑張ってくださいるのでよろしく願い致します。



2011年への期待

就農4期生 神戸・岩岡農園 藤澤 敦久

楽農学校の卒業生の皆さま、ご無沙汰しています。皆さまにおかれましては、それぞれの条件下で農事に関連した活動をされている事と思います。

今年度は、TPP、食の安全、一年通しての異常気象、等々と農業を取り巻く環境は年々厳しさを益して来ているように思います。



歯車の一つの歯であった会社生活から、何もかもを自力で解決して行かねばならない就農生活は、自分発見にはいい場であると思っています。

また、足りないところは学習し、いいところはにんまりとしながら心の片隅

に置いておく・・・作物づくりの毎日は、自身を鍛える道場のようにも思えてきます。

昨年度は、一年目のいちご栽培で経験を積まなければ解らない現象が色々発生しました。

二年目の今年度は、収穫時期をずらす為に(あき姫、紅ホッペ、アイベリー)の三品種を栽培し、栽培環境を見直し、収穫を増強させ、直売場とのチャンネルを増やし昨年度の30%アップの出荷から販売量を目指して頑張ろうと思っています。

西区岩岡の靴のヒラキ近郊に来られた時には、是非とも神戸・岩岡農園のイチゴを味わって頂ければと思っています。



ご来園者は、大歓迎です。

新しい年も、皆さまが健康で農事に取り組みされる事を心から願っています。

SNS「ひよこむ」のご案内

会員間の情報交流ツールとして地域※SNS「ひよこむ」の活用を検討中です。

「ひよこむ」についての詳細説明は紙面スペース上できませんが、右記の「ひよこむ」ホームページでご覧頂きたいと思ひます。

「ひよこむ」を検討する理由として

1. 兵庫県の地域に軸足を置いたSNSであること。
2. 県の行政機関関係も活用している。
3. 加入がフリーではなく入会しても他に比較し、安心感がある。
4. 費用は無料。などです。

「ひよこむ」ホームページをご覧頂き、入会をご希望される方は招待手続きをいたします。「ひよこむ」ホームページを書面でご希望の



方は連絡をいただければ、印刷したものをお送りします。(書面送付は少し時間をください)

会員の入会者が多くなれば、楽農学校OB会コミュニティを立ち上げたいと考えています。

※SNS (Social Networking Service) とは、人と人とのつながりを促進・サポートする。

Web サイトです。「ひよこむ」に参加するには、メンバーの紹介が必要です。



ひよこむ <http://hyocom.jp/about.php>

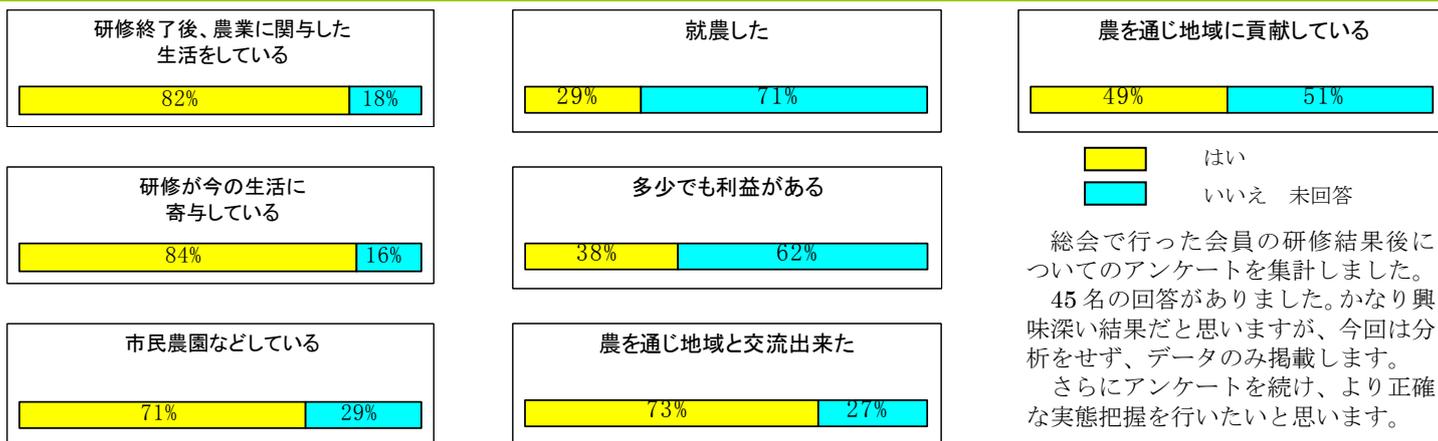
この件の問い合わせ先

鈴木 輝久 teru.sz331@leto.eonet.ne.jp

078-935-8126 (自宅)

西村 一 h-nishimura@mqc.biglobe.ne.jp

072-758-7584 (自宅)



原稿大募集！！

エッセー、体験談等を募集しています。(4000字程度)
 社団法人 兵庫みどり公社 兵庫楽農生活センター
 〒651-2304

神戸市西区神出町小東野30-17

電話078-965-2047

FAX078-965-2659

ご意見や感想、原稿はメールでも受付しています。

西村 一 h-nishimura@mqc.biglobe.ne.jp

編集後記

関本です。一年、あっという間ですね。今回も無事に発行出来ました。原稿を寄せて下さった指導員の方、OB会の会員の方ありがとうございました。感謝致します。

今年の10月に役員の方の船曳さんが永眠されました。今年もOB会を盛り上げて頂ければと思ひただけに、残念です。ご冥福をお祈り申し上げます。

最後に皆様へ今年一年、ありがとうございました。来年もご支援、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。